

2026年9月24日
三菱国際園芸博覧会総合委員会

2027年国際園芸博覧会(GREEN×EXPO 2027) 「三菱みんなの未来館」の展示・演出内容を発表

三菱グループ24社で構成される三菱国際園芸博覧会総合委員会(委員長:野島 嘉之)は、2026年9月24日、東京都千代田区丸の内にてメディア向け説明会を開催し、2027年3月19日に開幕するGREEN×EXPO 2027に出展する「三菱みんなの未来館」の展示・演出内容を発表しました。

写真:概要説明会 登壇者集合写真



説明会では、野島委員長が1970年の大阪万博以来受け継がれてきた万博出展への想いや、「三菱みんなの未来館」の展示・演出全体像について説明しました。続いて、塩原事務局長ほか登壇者より、展示テーマ「みんなで繋ぐ、豊かな地球」の具体的な展開内容について、また、ライド型展示ならではの空間設計について、映像や音響、照明などを組み合わせた演出や体験内容について、それぞれ紹介されました。

ホームページURL

- ・三菱公式サイト

<https://www.mitsubishi.com/ja/greenexpo2027/>

- ・三菱みんなの未来館 プロモーションサイト

<https://mitsubishi-greenexpo2027.com/>

登壇者の挨拶・説明要旨



三菱国際園芸博覧会総合委員会
委員長 野島 嘉之

三菱国際園芸博覧会総合委員会 委員長 野島 嘉之

「三菱グループは、1970年の大阪万博以来、国内で開催された全ての万博に『三菱未来館』を出展し、『持続可能な地球と社会の発展に貢献し続けたい』という想いを発信してきました。GREEN×EXPO 2027でもこの想いを受け継ぎ、幸せな明日をみんなで創りたいとの思いから『三菱みんなの未来館』として出展します。展示を通じ、自然と人、自然と社会が共生することの大切さを再確認し、意識・行動変容のきっかけにつなげたいと考えています。」

三菱国際園芸博覧会総合委員会 事務局長 塩原 優

「展示テーマは『みんなで繋ぐ、豊かな地球』です。館内では『みつけてみーな！未来へのタネ』と題した特別な旅を体験いただきます。乗り物に乗って、海、大地、大空といったさまざまな世界を巡りながら、自然の美しさや豊かさに触れるとともに、私たちの暮らしや社会と自然とのつながりを感じていただきます。この体験を通じて、一人ひとりが自分なりの『未来へのタネ』を見つけ、パビリオンを出たあとにも、『自分だったら』と未来について考えていただければと思います。」



三菱国際園芸博覧会総合委員会
事務局長 塩原 優



株式会社丹青社
チーフデザイナー 服部 純

株式会社丹青社 チーフデザイナー 服部 純

「ライド型だからこそ生まれる体験を大切に、乗り物の動きに合わせた空間の変化や来館者の視線、体験の中での感情の移り変わりまで意識して設計しています。次に何が現れるのかという期待感を持ちながら、次々と変化する世界に引き込まれていく。そんなライドならではの体験を、空間全体でつくり上げています。」



株式会社丹青社
プロデューサー 野本 真紀子

株式会社丹青社 プロデューサー 野本 真紀子

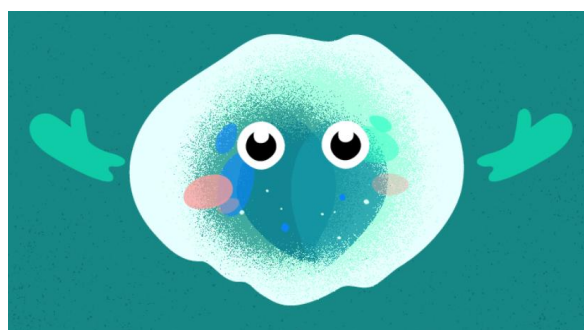
「映像や音響、照明、インタラクティブな演出を組み合わせるだけでなく、その世界に入り込んで体験できる展示を目指しています。ナビゲーションキャラクターの『ミーナ』とともに旅を進める中で、驚きや発見が次々と生まれ、お子さまから大人まで夢中になって楽しんでいただける体験をお届けしたいと考えています。」

ライド型体験「みつけてミーナ！ 未来へのタネ」

三菱第三代社長・岩崎久彌



ナビゲーションキャラクター「ミーナ」



来館者を最初に迎えるのは、三菱第三代社長で、後に「カントリー・ジェントルマン」と呼ばれた岩崎久彌です。岩崎久彌とナビゲーションキャラクター「ミーナ」の案内のもと、来館者は乗り物に乗って、豊かな地球を未来につないでいく旅へ出発します。海、大地、大空といったさまざまな世界を巡り、映像や音響などによる没入感のある演出を通じて、私たちの暮らしや社会と自然とのつながりを体験します。旅の中では、未来の都市と自然との共生につながるさまざまな取組や可能性を「未来へのタネ」として紹介。楽しみながら「未来へのタネ」を見つけ、未来について考えるきっかけとなる体験をお届けします。

